



二〇一九年度（令和元年度）

定時総会開催

二〇一九年度（令和元年度）定時総会を六月十三日（木）「広島県民文化センターふくやま」において、会員出席八七八名（当日出席者二二五名・委任状提出者三九二名・議決権行使書提出者二六一名）のもと、午後一時三〇分より開催しました。

開会にあたり、昨年度中の物故会員の方々に対して、ご冥福をお祈りし、全員で黙祷を行いました。

定時総会の次第は次のとおりでした。

開会

物故会員の冥福祈念（黙祷）

理事長あいさつ

表彰状贈呈式（会員表彰）

来賓祝辞

二〇一九年度（令和元年度）定時総会

(一) 定足数報告

(二) 議長選出

(三) 議事録署名人の選出

(四) 報告事項

(五) 議案審議

(六) 報告事項

閉会

臨時理事会

理事長、副理事長、常務理事の互選について

新旧役員あいさつ

講演『福山城と福山のまちづくり』

役員体制

藤井功	高橋和男	監	山本義一	中山安司	澤田さえ子	廣川幸昇	粟村三雄	妹尾三郎	河本美智子	園尾晃一	山崎昭孝	林操子	竹谷清徹	内海三千男	多田昭彦	佐々木哲之	橋本史典	落合史典	理事	藤本真悟	常務理事	箱田政春	副理事長	小川雅朗	理事長
-----	------	---	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	-----	------	-------	------	-------	------	------	----	------	------	------	------	------	-----

理事長あいさつ



本日、会員の皆様には、二〇一九年度(令和元年度)定時総会に、多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。

日頃から、センターの事業運営に對しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、来賓の皆様には、公務ご多用の中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

日頃から、シルバー人材センターに對し、格別のご理解とご支援をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、人生一〇〇年時代を迎え、国は働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、七十歳までの就業機会の確保を図りつつ、それぞれの高齢者の希望・特性に応じて活躍できるような仕組みづくりを検討することとしております。そのひとつとして、シルバー人材センターの機能強化が掲げられており、シルバー人材センターに向けられる期待は一層大きなものになっております。

こうした中、昨年度も、第二次中期計画に基づき、喫緊の課題である会員の確保や就業機会の拡大、安全就業に重点的に取り組みました。

会員は組織の根幹をなすものであり、新規

入会者の入会促進や会員の退会防止に、色々な取り組みを行いました。民間企業の再雇用の定着などもあり、入会者が減少し、昨年度末の会員数は一、〇三七人となり、前年度と比べ五十一人減と、依然として、厳しい状況が続いております。

契約状況は、労働者派遣事業では今日の労働力不足を反映し、当センターへの依頼は前年度と比べ、受注件数、契約額ともに増加しております。一方で、請負業務においては、会員が減少したことなどに伴い、企業や個人からの受注に对应しきれないこともあり、除草などが受注件数、契約額とも前年度と比べて減少し、全体としての契約額は五億八千万円余りとなり、前年度を二・八%下回りました。

収支の面では、経費の節減にも取り組み、余剰金を確保することができました。これは、会員の皆様のご努力と福山市をはじめ、関係機関のご支援の賜物と感謝いたしているところであります。

この余剰金を財源として、将来に必要な設備に積立るとともに、老朽化している車両の更新など、設備投資に充ててまいります。

また、昨年度は、発注いただいている方々に対し、就業内容に関するアンケート調査を実施いたしました。調査結果は、九割余りの方々から今後ご利用したいとの回答をいただきましたが、多くの要望・意見も寄せられま

した。今後とも、より一層満足いただける仕事内容となるよう、組織として改善に取り組んでまいります。

今年度は、将来に向けて、着実な発展を遂げていけるよう、当センターの事業運営の基本指針となる第三次中期計画を策定してまいります。また、安全はシルバー事業の基本であり、増加傾向にある事故の未然防止に努めるとともに、市民の皆様からの仕事の依頼に応えられるよう、会員確保の取組みを重点的に行ってまいります。

今後とも、「信頼され、愛されるセンター」を目指し、会員の皆様と役員が一丸となつて事業を推進してまいりたいと考えており、引き続き、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

このあと、センターに十年以上在籍されました、会員八十名の方々の表彰を行います。表彰を受けられる皆様には、長年にわたり、センターを支えていただいておりますことに感謝を申し上げます。

本日の総会では、事業報告や収支決算、理事、監事の選任の議案を提出しておりますので、どうか、慎重なるご審議をいただき、ご賛同をいただきますようお願い申し上げます。開会にあたってのごあいさついたします。



来賓

当日は来賓として、次の六名の方々にご臨席いただき、落合史典 福山市長代理、早川佳行 福山市議会議員から祝辞をいただきました。

福山市保健福祉局長寿社会応援部長

落合史典様

福山市議会議員

早川佳行様

福山公共職業安定所所長

岩本雄二様

福山商工会議所専務理事

小川智弘様

福山市老人クラブ連合会会長

多田二千男様

福山市社会福祉協議会会長

橋本哲之様



会員表彰 (敬称略・会員番号順)

続いて、シルバー人材センターの発展に尽力され、十年間在籍された会員八十名が表彰されました。表彰を受けられたのは次の方々です。

加藤 祐輔 (川口)
清水美智子 (深津)
小川 佰男 (神村)
清水 保司 (福相)
木村 富雄 (新市)
住吉 五郎 (新市)
今村富士子 (加茂)
佐々木正則 (樹徳)
光永 福良 (駅家西)
田坂 鋼三 (駅家西)

石井 密夫 (東村)
小川 嘉彦 (今津)
田頭三保子 (神辺)
井手上英蔵 (福相)
土肥多美子 (緑丘)
臂 恭子 (神辺)
松本 民子 (常石)
梅田 行康 (深津)
山崎 眞治 (新津)
植田キヨコ (桜丘)

(東村) 石井 密夫
(今津) 小川 嘉彦
(神辺) 田頭三保子
(福相) 井手上英蔵
(緑丘) 土肥多美子
(神辺) 臂 恭子
(常石) 松本 民子
(深津) 梅田 行康
(新津) 山崎 眞治
(桜丘) 植田キヨコ

蔵田 早苗 (大津野)
赤瀬 林 (光)
藤井 幸子 (中条)
杉原 伸夫 (湯田)
藤本 一實 (瀬戸)
猿渡 義克 (新津)
松川 整香 (宜山)
岡田 和博 (久松台)
武田 かなえ (幕山)
石田 幸雄 (樹徳)
栗村 正司 (松永)
平岡 豊 (瀬戸)
山本 恵子 (旭)
坂本 郁夫 (多治米)
松井 義明 (西)
高橋 智恵男 (光)
地徳 紀子 (多治米)
地徳 正義 (多治米)
松浦 直美 (霞)
藤山 和子 (駅家西)
尾高 純弘 (緑丘)
横山 弘 (神村)
吉川 純六 (竹尋)
金田 美津子 (今津)
羽田 文子 (川口)
松本 成逸 (御野)
村岡 和行 (幕山)
和原 清弘 (常石)
垣花 孝明 (引野)
中平 勢津子 (多治米)
浦部 三郎 (光)
妹尾 三郎 (旭)
袴田 百合子 (藤江)
三村 晃 (引野)
橘高 敦美 (竹尋)
小曳 眞一 (加茂)
渡部 邦男 (緑丘)
森川 都治 (駅家西)

(大津野) 蔵田 早苗
(光) 赤瀬 林
(中条) 藤井 幸子
(湯田) 杉原 伸夫
(瀬戸) 藤本 一實
(新津) 猿渡 義克
(宜山) 松川 整香
(久松台) 岡田 和博
(幕山) 武田 かなえ
(樹徳) 石田 幸雄
(松永) 栗村 正司
(瀬戸) 平岡 豊
(旭) 山本 恵子
(多治米) 坂本 郁夫
(西) 松井 義明
(光) 高橋 智恵男
(多治米) 地徳 紀子
(多治米) 地徳 正義
(霞) 松浦 直美
(駅家西) 藤山 和子
(緑丘) 尾高 純弘
(神村) 横山 弘
(竹尋) 吉川 純六
(今津) 金田 美津子
(川口) 羽田 文子
(御野) 松本 成逸
(幕山) 村岡 和行
(常石) 和原 清弘
(引野) 垣花 孝明
(多治米) 中平 勢津子
(光) 浦部 三郎
(旭) 妹尾 三郎
(藤江) 袴田 百合子
(引野) 三村 晃
(竹尋) 橘高 敦美
(加茂) 小曳 眞一
(緑丘) 渡部 邦男
(駅家西) 森川 都治



表彰会員 (加藤 祐輔さん)

鎌倉 恵子 (松永)
大久保 潔 (水香)
門田 勇 (水香)
田中 貢 (藤江)
黒瀬 道男 (新津)
崎山 純一 (蔵王)
豊田 正史 (常金丸)
大本 也浩 (千田)
横山 政雄 (常金丸)
猪原 邦子 (緑丘)
松尾 恭子 (川口東)
栗田 忠 (御幸)
石橋 真 (道上)
金島 徳治 (湯田)
池添 昭則 (熊野)
田中 伸明 (曙)
石田 節夫 (桜丘)
池田 和江 (竹尋)
内藤 清二 (旭丘)
田中 明子 (南)
山鹿 幸平 (大谷台)
佐藤 孝次郎 (光)

(松永) 鎌倉 恵子
(水香) 大久保 潔
(水香) 門田 勇
(藤江) 田中 貢
(新津) 黒瀬 道男
(蔵王) 崎山 純一
(常金丸) 豊田 正史
(千田) 大本 也浩
(常金丸) 横山 政雄
(緑丘) 猪原 邦子
(川口東) 松尾 恭子
(御幸) 栗田 忠
(道上) 石橋 真
(湯田) 金島 徳治
(熊野) 池添 昭則
(曙) 田中 伸明
(桜丘) 石田 節夫
(竹尋) 池田 和江
(旭丘) 内藤 清二
(南) 田中 明子
(大谷台) 山鹿 幸平
(光) 佐藤 孝次郎

議事

議長に中山博行会員を選出し議事に入りました。議案の二〇一八年度(平成三十年)度) 事業報告と収支決算、理事の選任についての三件は、原案のとおり承認されました。

また、報告事項の二〇一九年度(令和元年) 事業計画と収支予算について説明を行いました。

質疑応答

議案審議・報告事項に関する質疑応答の概要は次のとおりです。

◎貸借対照表の未収金について

問 未収金はゼロになる事はないのか。

答 主に年度末に発生する三月分の未収金等が計上されるためゼロになることはありません。

◎会員の就業率などについて

問 会員に就業が均等におこなわれているのか聞きたい。年間一回の就業も数字に入っているのか。配分金を含む会員の入会動機を把握しているのか。

退会理由で希望する仕事がない、会費未納がある。入会したら何らかの仕事をしたいと思っ
ているはず。忙しいグループは忙しいが、仕事
がない会員もいる。例えば、均等に就業できる

ように、草刈は草刈機がないと出来ないのでは
なく、刈る者・草を集める者など、仕事は出来
るのではないか。

答 就業率は一回仕事をしていけば反映されて
いる。

入会動機については、生きがい、社会参加、
時間的余裕、仲間づくり、経済的な理由があ
る。

仕事をしていただくために職域班に入って
もらうようにしているが、自分が希望する職
がない事はあるかと思う。就業案内や就業相
談を通じて就業の取り組みを行っている。

草刈・草取りに関わっての就業の仕方では、
受注を受ける段階で均等に会員の方が就業で
きるように、注意しながら今後も取り組んで
いかなければならない大きな課題です。

基本的には会員として皆さんが未長く就業
できる事を念頭に取り組みたいと考えていま
す。

他に質疑はなく、議案第一号から第三号議
案までのすべての議案が承認され、定時総
会が終了しました。

定時総会終了後、臨時理事会を開催し、理
事長、副理事長、
常務理事の就任
が承諾され、新
役員を代表して
小川雅朗新理事
長よりあいさつ
がありました。



小川新理事長あいさつ

また、退任理事六名を代
表し、赤澤收前理事長より
退任のあいさつがありました。



新役員

任期満了による退任役員

大変お世話になりました。

- 理事長 赤澤 收
- 副理事長 中前智恵子
- 理事 小川 智弘
- 小川 好人
- 来山 邦男
- 桑原 正和



退任役員

講演

「福山城と福山のまちづくり」

福山城博物館 館長 黒木巖さんより、水
野勝成入封当時の福山の状況や時代背景のほ
か築城経過、エピソードなどについての講演
をいただきました。



マダニが媒介する感染症に 注意しましょう

福山市保健所保健予防課

春から秋にかけて野外作業や農作業、レジャー等で、山や草むらで活動する機会が多くなります。

野山に生息するマダニがウイルスや細菌などを持っている場合、咬まれた人が病気を発症することがあります。

マダニが媒介する感染症とは？

マダニが媒介する感染症は、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、ライム病があります。ツツガムシと呼ばれる小型のダニに咬まれて発症することのあるつづが虫病もあります。

一部のマダニはウイルスや細菌を持っており、感染すると咬まれてから二週間以内に発熱や発疹、下痢などの症状が出る場合があります。ヒトからヒトへの感染はありません。

福山市では、毎年十数名の患者が発生しています。マダニの活動が活発になる春から秋にかけて、患者数が多い傾向があります。

マダニってどんなダニ？

マダニと屋内にいるダニは種類が違います。マダニは山や草むらなど屋外にいて、人にとびかかり、咬みやすいところを探してウロウロし、咬みつくと数日間吸血します。マダニの大きさは、吸血前は5mm程度のものが吸血すれば1cm以上になります。

マダニに咬まれたら？

無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚に残ってしまうため、皮膚科で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関を受診しましょう。

【受診時に医師に伝えること】

- ① 野外活動の日付け
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



マダニに咬まれないためのポイント

- 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくする。
- 長袖・長ズボンを着用する。
- シヤツの裾はズボン、袖口は手袋の中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れてみましょう。
- 足を完全に覆う靴を履く。サンダル等は避ける。

上着や作業着は家の中に持ち込まないようにし、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれているか確認をしましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意しましょう。

問い合わせ

保健予防課 (928-11127)



交流ひろば



「公園清掃作業に参加して」

会員 蔦 宗 秀 樹
(二〇一九年一月入会)

長年勤めた会社を六十五歳で退職し、四月から松永グリーンパークの公園清掃作業に参加させていただいています。

退職後の生活を考えた時、地元で参加できるものを探してありましたが、シルバー人材センターの存在を知り入会させていただくこととしました。

作業内容は、想定していたものより範囲が広く今は少し戸惑っています。また、作業にあたっては安全と効率を考慮した方法で作業されていることに少し驚きました。まだまだ不慣れではありますが、チームの方々と一緒に作業をさせていただく中で色々なことを教わっていききたいと思っています。

屋外作業のため四季折々の空気を感じながら過せたらと思います。健康と安全に留意し、地域の方々に気持ちよく使っていただけるよう日々の清掃作業に励んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

「仲間贈る言葉」

会員 矢 迫 輝 美

人生で、一番大切な事は、恐れず挑戦することである。人間として人から必要とされ、求められる事が大切である。生きる大きな力になる。

私たちは、年だからと言って、夢を捨てる必要はない。一歩前に出る勇気をなくしてはつまらない。年老いても、明日を追いかけて、夢に生きる事は楽しい。

老いても、ふけるな。シルバー人材センターで生き生き働き、仲間を増やそうではありませんか。

くよくよしていると、老化はスピードアップする。一つ笑うと、一つ若くなる。笑顔で挨拶、みな幸せになる。

年老いても、あわてない、あせらない、そしてあきらめない。人は朝が廻りくるたび若くならない。でも、老けこまないように。

自分は年だからと言うと、老けが加速する。頑張らなくても良いゆっくり人生を楽しみましょう。

「子規記念博物館を見学して」

会員 澤 田 美 恵 子

二〇一九年二月二十七日(水) 福山市シルバー人材センター会員経験交流旅行が行われ

ました。福山を八時に出発し、美しい島を眺めながらのしまなみ海道を渡り、松山自動車道を経て、間もなく十時五十分子規記念博物館につきました。

迎えていただいたのは、大きな垂れ幕に書かれた「白梅の白きをもつて強きかなー子規ー」、玄関のとびらは、現代の「ホトトギス」の表紙デザインを使った立派なもので、力強い印象を受けました。

子規は慶応三年(一八六七)、松山に誕生され、小さい時から本を読んだり絵を描いたりするのが好きなおとなしい性格の方でした。十八歳のころ俳句をはじめ、二十八歳では漱石と五十二日間一緒に生活をし素晴らしい俳句もできました。

柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺
短歌、随筆には「墨汁一滴」「病床六尺」の連載は素晴らしい作品だと思います。

子規は明治三十五年(一九〇二)九月十九日、東京の子規庵で病気で亡くなりました。苦痛をのりこえ、情熱と透徹した眼をもって、様々な文学革新を成し遂げていった子規の足跡をたどることができました。

近代俳句の祖といわれる子規、漱石や文人たちの業績を集大成した文学系の博物館でした。苦痛をのりこえ、活動を続けることの素晴らしさが私たちに生きる力を与えていただきました。ありがとうございました。



二〇一九年度 北部ブロック地域班交流 「第十回グラウンドゴルフ大会」

会員 内海 徹

六月二十二日(土) 北部地域班(神辺、駅家東、新市)による毎年恒例のグラウンドゴルフ大会が開催されました。

予定通り八時三十分より開会の挨拶から始まり、来賓として小川新理事長、藤本事務局長、定森北部事務所長をお迎えし、代表して小川理事長よりご挨拶をいただきました。

今年は、総勢三十四名の参加を得て「神辺四季の森グラウンドゴルフ場」において「会員相互の親睦と健康づくり並びに地域活性化」を目指して終始和やかな雰囲気の中で熱戦が繰り広げられました。

北部地区グラウンドゴルフローカルルール・注意事項等の説明後、笛を合図に九時より二ゲーム(十六ホール)の熱戦が繰り広げられました。

ゲーム終了後、成績発表があり、上位三名の会員に定森所長より表彰状が手渡されました。賞品は折り畳み式自転車をはじめ会員が持ち寄った景品を順不同



で抽選し、自分好みの賞品を手には楽しいグラウンドゴルフ大会を終了しました。来年の多数の参加をお願いして解散しました。

優勝 森 耕次郎 三十六打

準優勝 貝原 守 三十七打

第三位 小林 四郎 三十九打

(ホールインワン二回)
(ホールインワン二回)

「剪定視察研修」

会員 松浦 宏治

七月一日(月)、会員二十四名事務局二名の計二十六名で最初の目的地の中津万象園に向かう車中では、「庭木の健康管理」「病害虫の上手な防除法」を学習しました。

中津万象園の園内に入り、庭管理者の話を伺いました。園内は広く八割は松、その他雑木があるだけで、四名の庭師で手入れをしているわりには、よく手入れをされています。この園内で実技指導を受けることはままならず、その他、水の管理、予防、消毒等の話を伺いました。

園内で印象に残ったのが、大傘松(おおかさまつ)でした。樹齢六百年といわれ、一本の松が直径十五メートルにわたって大きく傘を広げた形をしているものでした。

次にJA香川県分寺盆栽センターに向かい、盆栽作業を見学しながら話を聞きました。

今後は、今回学んだことを生かし、少しでも発注者に満足していただける作業を行っていきたいと思います。



「川柳」

会員 増成 重由

お年玉 孫にやつて 子にもらい
そら高く ムギ畑なのに 雲雀なく
メール見て すぐに飛びつく 懇親会
つくしの子 採つてよるこび 食べてよし
入院し 家中の親気配 なくなりぬ
うぐいすが 今年もやっつと うまくなり

会員 橘 高偉 郎

スーパーで 少ない列が 遅くなり
何気なく 七十過ぎた 顔のしわ
ありがとう お礼と感謝 今わかる

事業報告

理事及び監事候補者選考委員会

理事及び監事は今年度の定時総会最終結日をもって、任期終了となるため、他団体から推薦された理事候補者四名、監事候補者一名を除く候補者を選考しました。

◎四月二十二日(月)
理事十四名。監事一名についての選考

会計監査

監事二名により、二〇一八年度(平成三十年)の会計状況、事業執行状況などの監査を行いました。

◎五月九日(木)

内容

- ①二〇一八年度(平成三十年) 事業報告について
- ②二〇一八年度(平成三十年) 収支決算について

理事会の開催状況

次の事項について慎重に審議され、議案についてはいずれも可決承認されました。

◎五月十七日(金)

議案

- ①二〇一八年度(平成三十年) 事業報告について
- ②二〇一八年度(平成三十年) 収支決算について
- ③理事及び監事候補者の選考について
- ④表彰について

- ⑤二〇一九年度(令和元年度) 定時総会について
- ⑥理事長に対する権限委任について

報告

- ①正会員入会者の報告について
- ②未収金の回収状況について
- ◎七月四日(木)

①理事会専門委員会の委員指名について

①正会員入会者の報告について

各種委員会の開催状況

◎七月四日(木)
理事会終了後、各委員会で委員長を選出しました。

◆総務委員会

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 委員長 | 竹谷 清人 | 箱田 政春 |
| 委員 | 落合 史典 | 澤田さえ子 |
| | 山本 義一 | |

◆普及啓発委員会

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 委員長 | 河本美智子 | 多田三千男 |
| 委員 | 佐々木昭彦 | 林 操子 |
| | 内海 徹 | 中川 安司 |
| | 園尾 晃一 | |

◆事業委員会

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 委員長 | 山崎 昭孝 | 妹尾 三郎 |
| 委員 | 橋本 哲之 | 廣川 昇 |
| | 粟村 幸雄 | |

◆安全委員会

- ◎六月七日(金)
- ◎七月十七日(水) 委嘱状交付
- ◎七月二十四日(水)

就業現場の安全パトロールを実施。委員会では、県連合会の安全就業研修会への出席や安全管理体制、事故の分析と事故防止対策などを協議しました。七月には、新たに委員が委嘱され、次のとおり決定しました。

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 山崎 昭孝 | 廣川 昇 |
| 副委員長 | 井上 奉臣 | |
| 委員 | 栗村 幸雄 | 澤田さえ子 |
| | 山本 義一 | 岸本 彰五 |
| | 菅田 好利 | |
| | 猪原 幹雄 | |

◆会報編集委員会

◎七月十二日(金) 委嘱状交付

◎七月二十九日(月)

七月に新委員が委嘱され、「いきいきぶくやま」第五十一号の発行について協議しました。

- | | | |
|-----|--------|-------|
| 委員長 | 河本美智子 | 林 操子 |
| 委員 | 内海 徹 | 中川 安司 |
| | 園尾 晃一 | 矢迫 輝美 |
| | 田口 律子 | |
| | 中前 智恵子 | |

講習・研修会の開催状況

○剪定講習会(入門編)

・開催日 五月二十七日(月)・二十八日(火)・二十九日(水)・三十日(木)

・内容 講義、実技実習

・参加者(延)七十三名

○剪定・視察研修(中津万象園)

・開催日 七月一日(月)

・内容 庭管理者から手入れなどの話を伺いました。

・参加者(延)二十六名

事務局だより

事務局だよりには、会員の皆様への大切なお知らせ等が掲載されておりますので、必ずお読みください。

会員確保のご協力をお願いします。
～お友達を紹介ください～

入会には、説明会に参加し、シルバーのごと(仕事、活動内容、配分金等)を理解して頂くことが必要となります。
日程表の説明会に参加できない場合は、随時説明を行っていただきます。紹介される方に案内してください。



入会説明会 日程		
とき	ところ	入会に必要なもの
9月26日(木)	本部、北部事務所	・年度会費 2,400 円 ・証明写真 2 枚 ・印鑑 ・振込先のわかるもの ③ 1月～3月の新規入会者は、 年度会費 1,200 円
10月 4日(金)	エフピコRiM福山	
10月10日(木)	北部市民センター	
10月24日(木)	本部、北部事務所	
10月29日(火)	西部市民センター	
11月28日(木)	本部、北部事務所	
12月19日(木)	本部、北部事務所	
1月16日(木)	本部、北部事務所	
1月23日(木)	本部、北部事務所	

※各午後 1 時 30 分～

就業相談

気軽にご利用ください。
※相談時間が重なることがありますので、前日までに連絡してください。
※日程が合わない方は、遠慮なく事務局へ電話してください。
※来所が難しい方は、電話相談もしています。

九月二十六日(木)	・本部、北部事務所 ・相談時間 九時～十二時まで
十月二十四日(木)	
十一月二十八日(木)	
十二月 十九日(木)	
一月二十三日(木)	

登録内容に変更がある場合

住所、電話番号、配分金振込口座などの変更がありましたら、必ず事務局までお知らせください。

正会員会費納入について

シルバー人材センター会員は、定款の規定により、毎年年会費(二,四〇〇円)を納めることになっています。今年度の会費が未納の方は、早急に納入してください。
※六月下旬に振込用紙を郵送しています。用紙の期限が切れていても使用可能です。
なお、各事務所まで直接納入もできます。

配分金明細書及び支払いについて

経費節減の一環として、配分金明細書を約二カ月毎に送付しております。
今年度も引き続き同様の取り組みを行いますので、送付月でない月に明細書が必要な方は、配分金支払日以降、事務局(本部・北部)に來所してください。

配分金明細書の再発行を希望する方は、事前に各事務所へ連絡のうえ、來所してください。再発行の郵送は行っていません。

なお、配分金支払日は毎月二十五日です。支払い日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌金融機関営業日が支払い日となります。

ヒヤリ・ハット報告について

当センターでは、安全適正就業チエックシートによる就業状況の報告を義務づけています。



就業報告書の裏面にヒヤリ・ハットの記載欄がありますがほとんど記載がありません。

ハイリッピの法則によりますと、一件の重篤事故の背後には、二九件の軽微な事故があり、さらに三〇〇件の事故につながりかねないいわゆる「ヒヤリ・ハット」事象があるとされています。

就業していればヒヤリ・ハットは必ず発生するものです。
事故の未然防止に役立てるため、ヒヤリ・ハット報告を必ず提出してください。

今後の講習会の予定

○筆耕研修会

- ・内 容 宛名書き、賞状書きなど(三回)
- ・対 象 者 筆耕班会員及び就業希望会員

○家事援助講習会

- ・内 容 調整中
- ・開催予定場所 シルバー本部
- ・対 象 者 女性会員

○キャリアアップ研修会

- ・内 容 調整中
- ・開催予定場所 シルバー本部
- ・対 象 者 派遣就業会員

○刈払機取扱・草刈安全講習会

- ・内 容 刈払機の取扱と安全作業について
- ・開催予定場所 シルバー本部
- ・対 象 者 草刈り班会員及び就業希望会員

○接遇講習会

- ・内 容 シルバーとして求められる接遇サービスなど
- ・開催予定場所 シルバー本部
- ・対 象 者 公共業務就業会員

○剪定フォローアップ講習会

- ・内 容 松などの剪定実習
- ・開催予定場所 シルバー本部他
- ・対 象 者 剪定業務のリーダー・サブリーダーなど

○交通安全講習会

- ・「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」期間に合わせ講習を予定します。
- ・開催予定場所 シルバー(本部) 他会場



- ・対 象 者 全会員

◇今後の講習会については、開催日時、場所が決まり次第、皆様に「事務局だより」、「安全だより」などで案内しますので、是非参加してください。

職員紹介



この度、二〇一九年四月から採用されました丸山僚一と申します。草刈・伐採関係のお仕事を中心に担当していますので、仕事内容について気になる点がありましたらお気軽にご相談ください。指導してくださる先輩方とともに、一丸となつてシルバー人材センターの運営・発展に努めます。よろしくお願いたします。



この度、二〇一九年四月から採用されました石岡泰地と申します。日々新たな出来事があり、事務局・会員の皆様からその都度ご指導していただいています。シルバー人材センターの発展に貢献するために頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。

「いきいきぶくやま」原稿募集

会報に掲載する原稿を募集しています。題材は自由ですので、仕事・趣味・旅行の感想など四〇〇字詰原稿用紙一枚程度に書いて、事務所「会報いきいきぶくやま係」まで

お送りください。

写真・短歌・俳句・詩なども募集しています。次回の発行は二〇二〇年(令和二年)一月です。

「編集後記」

この度、河村静江さん、桑原正和さんが任期満了により会報編集委員を退任されました。本当にありがとうございました。

今回より、園尾・中川・中前が新たに会報編集委員となりました。今後ともよろしくお願いたします。

まだまだ暑い日が続きますが、睡眠を十分にとり、こまめに水分補給を心がけ、元気にこの夏を乗りきりましょう。

発行／公益社団法人福山市シルバー人材センター

【本 部】 福山市新涯町二丁目21番30号
TEL (084)953-5222 FAX (084)953-5233

【北部事務所】 福山市神辺町大字川北1349番地
TEL (084)963-9555 FAX (084)963-9556

メールアドレス fukuyama@sjc.ne.jp
URL <https://webc.sjc.ne.jp/fukuyama/>
編 集／会 報 編 集 委 員 会

会員数 (2019年(令和元年)7月末現在)
男 873人 女 395人 計 1268人